

平成30年度災害復旧支援エンジニア活動報告（庄内町）

- 平成30年8月5日～6日の豪雨により県内、特に北村山・最上・庄内地方では多くの場所で被災しました。

庄内町より、建設技術センターに災害対応について技術支援の要請があり、センターは、平成25年度に県と協定した「技術職員OBによる災害支援に関する協定」を発動し3名の災害復旧支援エンジニアを迅速に派遣し、災害支援を実施しました。

【庄内町】

- 派遣要請 ・ 8月29日（水）に庄内町より災害復旧に関する技術支援の要請
- 派遣の実施 ・ 9月3日（月）に災害支援の要請を受け災害復旧支援エンジニアを派遣
 - ◆活動状況①（災害復旧支援エンジニアへの派遣依頼）
 - 29日 ・ 「災害復旧支援エンジニア登録者名簿」より地域性及び当日の活動可能な土田良男氏、粕谷政雄氏及び加藤正雄氏へ派遣を依頼
 - ◆活動状況②（役場で被災状況について確認のうえ助言・指導）
 - 3日 ・ 庄内町会議室にて被災状況を町職員より説明を受け、査定に関して注意しなければならない点などの技術的な指導と査定時に説明するための資料整理を助言。
 - ◆活動状況③（被災現地での助言・指導）
 - 3日 ・ 現地にて被災状況を視察し被災延長の考え方、被災状況の撮影個所・撮影方法や復旧方法の進め方等を助言。

☆ 普通河川 番代沢川

- ・ 被災原因のメカニズムについて把握、復旧工法の留意点を助言
- ・ 河川上流の河床を安定させる工法等を助言
- ・ 復旧範囲を現地で指導

[災害復旧支援エンジニア制度；災害が発生した場合、県・市町村からの要請を受けて専門技術者が発注者の立場で助言・指導を行う]

